

腋窩伝達麻酔下に上肢の手術を受ける患者さんへ







患者様用

患者氏名 :

様

受持医署名 :

受持看護師署名 :

月日(日時)	/	/	/	/	/
経過(病日等)	手術前日まで	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日以降
達成目標		手術に安全に望むことができる	手術後、呼吸・血圧等が安定している 手術後、安静を守ることができる 手術後、創痛・出血がコントロールできる	手術後、呼吸・血圧等が安定している 手術後、安静を守ることができる 手術後、創痛・出血がコントロールできる	今後の治療方針に関する相談を行う
治療・薬剤 (点滴・内服) リハビリ		手術室で点滴を行います 		食事の量に応じて点滴を行います。午前・午後に抗生物質の点滴を行います。薬剤師の服薬指導があります。 	食事の量に応じて点滴を行います。午前・午後に抗生物質の点滴を行います。
処置		下肢にストッキングを着用し、検査着に着替えます		創傷からの出血が多い場合のみ、ガーゼ交換を行います。	ガーゼ交換を行います。
検査			必要な場合に血液検査を行います。		
活動 安静度		入院時と同様です。	ベッド上で安静にさせていただきます。	患者さんの状態、行った手術、創の状態によって総合的に判断します。主治医、看護師の指示に従ってください。	
食事		飲んだり食べたりできません	担当医の許可が下りれば、食事を取っていただきます。		
清潔				清拭(体を拭くこと)を行います	(出血が収まって)フィルムの創傷被覆材となっていればシャワーをしていただいても結構です。
排泄				患者さんの状態に合わせて、車椅子/歩行器/杖等でトイレに行きます。	
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導			 担当医から手術結果の説明があります。		退院をして、通院で経過をみせていただくか、入院でリハビリテーションを進めるかについて主治医から説明があります。

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

大津赤十字病院

整形外科 201208改訂